

告示	番号	13	慢性心疾患
	疾病名	脚ブロック	

## 脚ブロック

ぎやくぶるっく

### 概念・定義

刺激伝導系の左脚もしくは右脚の伝導障害により生ずる幅の広いQRSで、QRS時間は0.12秒以上となる。多くは特発性である。無症状である。脚ブロックのみでは治療の必要はない。特発例の予後は良好である。

### 症状

特に認めない。進行性に脚ブロックから、房室ブロック、完全房室ブロックへと進行する進行性房室伝導障害を認める例も報告されている

### 治療

脚ブロックのみでは治療の必要はない。進行性伝導障害例で、房室ブロックへと進行すれば、ペースメーカ植込みの適応となる。先天性心疾患術後例では、心室頻拍が誘発されれば高周波カテーテルアブレーション、ICD植込みなどが必要になる

抜粋元：[http://www.shouman.jp/details/4\\_4\\_4.html](http://www.shouman.jp/details/4_4_4.html)